

# レンコン

**産地：**徳島県、愛知県、石川県、佐賀県、茨城県など

**使用目的：**レンコンの栽培の安定、収量・品質の向上

①レンコン残渣の分解

普段から残渣を持ち出していたとしてもどうしても土中に残ってしまう部分がありますので、深層部含めて分解していきます。特に長年栽培を継続し、残渣分解が不十分で残渣がたまってくと硫化水素を発生させる微生物が繁殖し、そこから根が傷み生育に対して悪影響を及ぼすこととなります。

②有機物を腐植化して有効化する

腐植を増やすことにより、水質が浄化されやすくなります。あわせて耕土を柔らかくさせることで、太りやすくなり、作業性が向上します。

③微生物層を深層まで多様化する

レンコン栽培では水を多く使用することもあり、他の圃場から病原菌の侵入がしやすいため、事前に病原菌が繁殖しにくい環境を作る必要があります。

**使用方法：**基本は、残渣が多くなる収穫終了後に投入。

**定植直前10日前の施用のみ禁止。**

**水温(地温)が高く、残渣が多い場合は急速な分解ガスの発生の恐れがあります。**

※レンコンは地域により栽培体系が多岐にわたるため、

体系の中で投入しやすいタイミングで使用。

追肥での施用も可能です。収穫直前で使用される事例あり。

(畑を乾燥させることは無いとは思われますが、コフナ投入直後は、

直ぐに水を入れるか、すき込みをお願いします。)

**使用量：**コフナMPSSを5～10袋／10a

徳島県

<栽培体系>

基本条件：休閑期は、すべての圃場ではないが水を抜く。

収穫はユンボを利用して収穫。全掘り、筋掘り共にあり。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基本/パターン			定植					収穫				
早生品種			○		○			■		消石灰60kg/反・石灰窒素40~80kg/投入鋤込		
		元肥投入										
		化成(有機肥料も) 約40kg/反					太陽熱消毒の場合		■	■	■	■
		石灰 40~60kg/反	1~2回繰る							石灰窒素 200kg以上/反		
										混和後代掻きフィルム被覆		
コフナ使用の場合		●	コフナMP10袋/反	○				■				
		石灰窒素150kg/反	3/20定植	追肥 8-8-8 120kg								
				※4月末頃に1回目追肥								
					5月の様子を見て(茎の太さ、水の臭い等)							
					追肥、コフナ投入の判断を行う。							

使用目的：栽培の安定化。

減肥、残渣を効率よく分解、作土層の改善（作土を深くする）

使用方法①：

元肥と同時にコフナMPSS10袋/10a散布。

※石灰窒素を施用する場合は、1ヶ月程度あけてコフナを散布する。

使用方法②：（現在試験取組中）

腐敗病対策としての太陽熱消毒時にコフナMPSS10袋/10a散布。

※石灰窒素は使用せず。ビニール被覆の期間は、半年程度とする。



太陽熱消毒の様子 徳島県 2017年8月



同年12月撮影 撮影数日前まで朝は氷点下まで気温が下がるも地温は高い。



拡大

コフナ・ソーラー法実施圃場での様子。

残渣に白い菌が取り付いており分解している様子がわかる。

## 石川県

### <栽培体系>

作業工程	内容	作業時期
ほ場準備	耕起 基肥施肥	3月下旬～4月下旬
定植	植え付け間隔 ◎条間180センチ ◎株間120センチ ◎深さ12～15センチ	4月下旬～5月上旬
芽出し	生育初期3～4日毎 生育中期10日毎	6月上旬～7月下旬
除草	除草剤散布 手取り	5月中旬～6月下旬
追肥		6月中旬～7月中旬
防除		4月下旬～8月下旬
茎刈り	赤サビ防除処理	8月下旬～10月下旬
茎刈り	黒変症防止対策	8月下旬～10月下旬
収穫	すじ掘り 皆掘り	8月下旬～5月下旬

1ケース＝5.85kg

基本条件：水掘りおよびくわ掘り

全面掘りないしはすじ掘り

全面掘り（皆掘り）：秀品率は上がりやすい。種芋定植（4月上旬から5月上旬）

すじ掘り：収穫量はあまり変わらず。定植の手間は不要

（2m幅収穫、2m幅残す。人によっては3m幅収穫、1m幅残す人も）

鴨の食害：50cmくらいであれば潜ってレンコンを食べるとのこと。

病 気：腐敗病等。

土 壌：堆肥や肥料は船の上から散布するため、多くの数量を投入できない

そのためか、年々土が固くなる傾向にあるとのこと。

（堆肥として鶏糞を500kg/反程度入れられるかどうか。

その他の肥料含めて1.5tくらいは入れたいとの当時コメントあり）

肥料分としては9月の時点で0になるようにする。（500kg程度なら無くなる）

収 量：平均700kg/反（金沢市農協資料より）2t以上の方もいる。

### <コフナ使用法>

使用時期：基本は3～4月。過去に掘り取りの際に土が固いため5袋/10a程度を投入すると3日後には非常に柔らかくなり、作業が非常に楽になったとコメントあり。

使用効果：レンコンが土中深く入っていればいるほど日持ち性が上がるが、コフナを入れると深く潜る傾向にあるとのこと。しかし鴨も深く潜ってくるようにはなる・・・。

くわ掘りもだが、水掘りの場合は特に土の柔らかさはメリットである。

## 佐賀県

### <栽培体系>

基本条件：圃場は一年中湛水。収穫はジェット噴射での水掘り

基本は全掘り（一部すじ掘りあり）。

腐敗病、センチュウ害があり。古くからの産地（50年以上栽培圃場あり）

太陽熱消毒は普及せず。

### <コフナ使用方法>

使用時期：2月上旬に石灰窒素3～4袋／10a施用

3月上旬にコフナMPSS10袋／10a施用

4月上旬定植

使用目的：収量改善を目的に使用。